

柔道実施要項

I 男子団体の部

1. 期 日

令和3年7月3日(土)

2. 会 場

県営富山武道館柔道場

3. チーム人員

監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、
選手7名以内(試合出場者5名)、計10名以内

4. 競技方法

- (1) 試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。
優勢勝ちの判定基準は「技あり」「僅差(指導差2)」以上とする。
なお、詳細については審判監督者会議により決定する。
- (2) リーグ法とし、試合時間は4分とする。
- (3) リーグ戦内のチームの勝敗の決定は勝本数の多いチームを勝とする。勝本数が同数の場合は勝内容による。勝内容は1本勝100点、技あり優勢勝10点、僅差勝1点、引分け0点(棄権勝、不戦勝は100点とする)としその合計点で決する。合計点の同じ場合は引分けとする。
- (4) リーグ戦の順位決定は勝数の多いチームを上位とする。勝数が同数の場合は負数の少ないチームを上位とする。勝負同数の場合は勝本数合計の多いチームを上位とする。勝本数合計同数の場合は勝内容による。勝内容は1本勝100点、技あり優勢勝10点、僅差勝1点、引分け0点(棄権勝、不戦勝は100点とする)としてその合計点で決する。それでも勝負が決しない場合はゴールデンスコア制による1名の代表戦を行い必ず勝敗を決定する。
- (5) オーダーの提出は各試合5分前とし、補欠を含め試合毎に組み替えてもよい。

5. 表 彰

- (1) 表彰は1位～3位までに賞状を授与し、1位に優勝杯を授与する。
- (2) 優勝チームは全国高等専門学校体育大会柔道競技団体の部の出場権を得るものとする。

6. そ の 他

- (1) 選手は、全日本柔道連盟現行もしくは新規格の柔道衣を着用し、全日本柔道連盟規定のゼッケン(横30±3cm、縦22±3cm)を付けること。
- (2) 審判補助員を主管校より8名出す。
- (3) 審判監督者会議を12時00分から行う。
- (4) 試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、原則として大会への出場を禁止する。但し、2週間以内の治療証明書がある場合は出場を認める。
- (6) 脳震盪における扱い
 - ①大会1ヶ月前に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること)

II 男子個人の部

1. 期 日

令和3年7月3日(土)

2. 会 場

県営富山武道館柔道場

3. 出場人員

監督1名、選手24名以内(各階級6名以内)

4. 競技方法

- (1) 試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。優勢勝ちの判定基準は、「技有」以上とし、試合の最後にスコアが同等の場合、「指導」の有無にかかわらず、ゴールデンスコアへ突入する。スコアが与えられた時点又は、「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。ゴールデンスコアの試合時間は無制限とする。
- (2) 「同時反則負け」の場合、次の試合の出場者の決定は、予め監督者会議で定めておく。
- (3) 階級別トーナメント法とし、試合時間は4分とする。
- (4) 階級の重量は次のように分ける。

66kg級
73kg級
81kg級
無差別級
- (5) 計量は7月3日(土)11時00分～11時50分に会場で行う。
- (6) その他の事項については男子団体の部に準ずる。

5. 表 彰

- (1) 階級毎に1位～3位までに賞状を授与する
- (2) 階級毎に上位1名は、全国高等専門学校体育大会柔道競技個人の部の出場権を得るものとする(以下全国大会個人と表記する)。2位の選手については1位の選手が何かしらの事情により全国大会個人に出場できない場合、地区の補欠候補者となる。

6. そ の 他

審判監督者会議を男子団体の部と合わせて行う。

III 女子団体の部

1. 期 日

令和3年7月3日(土)

2. 会 場

県営富山武道館柔道場

3. チーム人員

監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、
選手5名以内(試合出場者3名)、計8名以内

4. 競技方法

- (1) 試合は、男子団体の部と同規定で行う。なお、詳細については審判監督者会議にて決定する。
- (2) 白線入り黒帯の使用を認める。

5. 表 彰

- (1) 表彰は1位～3位までに賞状を授与し、1位に優勝杯を授与する。

6. そ の 他

審判監督者会議については男子団体の部と合わせて行う。

IV 女子個人の部

1. 期 日

令和3年7月3日(土)

2. 会 場

県営富山武道館柔道場

3. 出場人員

監督1名、選手は制限なし

4. 競技方法

- (1) 試合は、男子個人の部と同規定で行う。
- (2) 「同時反則負け」の場合、次の試合の出場者の決定は、予め監督者会議で定めておく。
- (3) 階級別トーナメント法とし、試合時間4分とする。但し、出場者数により、リーグ法とする場合がある。
- (4) 階級の重量は次のように分ける。

柔道実施要項

48kg級

52kg級

57kg級

無差別級

(5) 計量は7月3日(土)11時00分～11時50分に会場で行う。

(6) 白線入り黒帯の使用を認める。

(7) その他の事項については男子団体の部に準ずる。

5. 表彰

(1) 表彰は階級毎に1位～3位までに賞状を授与する。

(2) 階級毎に上位1名は、全国高等専門学校体育大会柔道競技個人の出場権を得るものとする。

6. その他

審判監督者会議については男子団体の部と合わせて行う。